

勝瀬中学校区

<p>交流事業として、実施できたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生テスト ・入学前アンケート ・各種たより、広報誌等の交換
<p>乗り入れ授業の教科・領域 (数学)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の教員が毎週小学校3校をローテーションで回り、授業支援や生徒指導等、小中連携で行った。コロナ禍で行けない時期もあったので、タブレット端末を活用した、リモート授業などICTを活用した研究を行っていききたい。 ・学校間で学力の2極化が激しく、小中連携する中で指導法や少人数指導などを行いたいが、教員数の不足や打ち合わせの時間など、課題が見られる。 ・乗り入れ授業の持ち方についても、例えば小学校の先生が中学校に来て授業支援を行ったり、運営方法を工夫していききたい。
<p>カリキュラム編成に取り組んでいる教科・領域等 (国語・数学・社会・理科・英語)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新入生テストや入学前アンケートなどを行い、正確な学力の把握と、指導の工夫について連携した。中学校で行った学力検査の結果や生徒アンケートの結果を小学校に提供したり、こまめに追跡調査の結果を教え、指導に役立てている。 ・今後は、体育や音楽で縄跳びや合唱など、小中連携で取り組めるようにしていきたい。
<p>令和3年度の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりを中心に、各校で共有できた。 ・コロナ禍で人的な交流が限られてしまったので、ICTを用いた運営方法や内容の厳選を図りたい。 ・児童・生徒の意識や生活態度、学力、体力など、尺度を用いた検証結果の活用は行われていないため量的・客観的な成果は未知である。今後、県学調の結果等を活用し、PDCAサイクルを確立しながら効果を高めたい。
<p>令和4年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、学校だよりだけではなく、学級通信や各種アンケートの結果、生徒指導・教育相談部会資料など、各学校での課題や取組がわかるような情報交換・情報共有を行っていく。 ・ICTの活用や情報モラルなど、小中学校で共通理解・共通行動を行い、指導の系統化を図っていく。